

こっこめ通信 05 2017

「ちょっと探してみたら」号



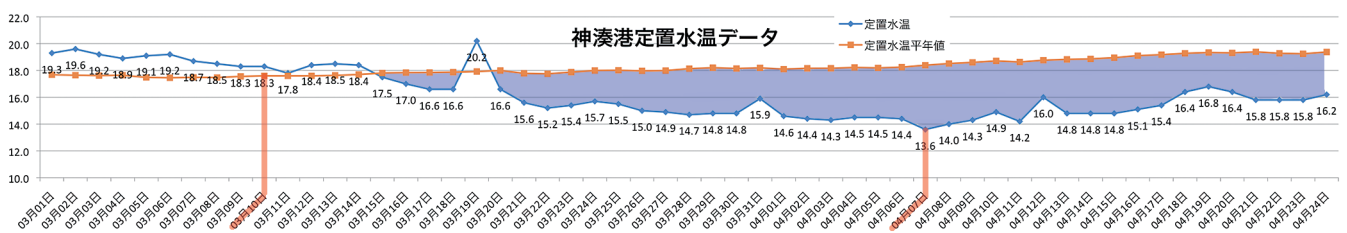
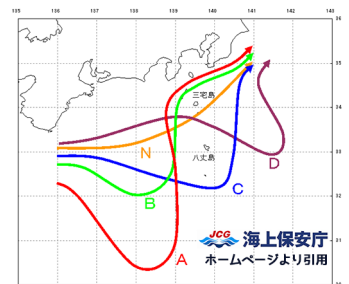
八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

観光の資源になるのでは？と密かに期待しているクロアシアホウドリとザトウクジラ。八丈小島のクロアシアホウドリは産まれた2羽のヒナが順調に成長しています。しかし、ザトウクジラは黒潮の蛇行による冷水の影響後は、姿が見えなくなっていました。ザトウクジラに関しては今年は期待通りにはいかなかったですね。

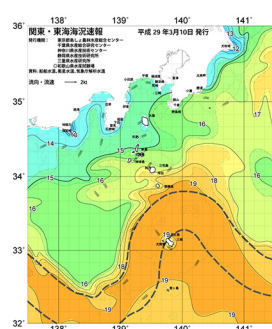
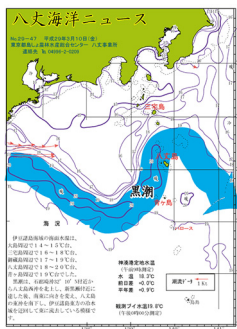
さて今回は、「黒潮の蛇行と冷水塊」「この花がこの実に（食べられる編）」についてのお話です。

黒潮の蛇行と冷水塊

黒潮の流路はいつも同じではなく変化します。右図が八丈島周辺での黒潮の流れるパターンです。N型・A型・B型・D型の場合、八丈島は黒潮の南に位置するため水温は高く、急激に下がることはありません。しかし、C型に蛇行してしまうと黒潮の北側になり、水位が下がり、水温が低下してしまいます。そしてこの蛇行によって発生すると冷たい冷水塊に包まれてしまうことがあります。

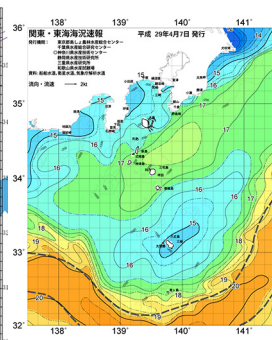


3月10日の黒潮流路と周辺水温



3月10日頃からB型～C型へと変化しはじめましたが、まだ黒潮にかかっていたため水温の低下はありませんでした。しかし、3月14日以降はC型に変わり、水温が徐々に低下していきました。3月下旬から本格的に冷水塊に覆われ、4月7日には13.6℃まで下がっています。冷水塊に覆われてもすぐに水温が回復すれば生きものたちのダメージはありませんが、長く続くと絶えられずに死んでしまう生きものがたくさん出てきます。4月14日に潜った時には死んでしまった魚やウニ、貝などが水底にたくさんありました。下の表は4月23日、大湊浦の海岸線400mを調査して確認できた打ち上げられた魚です。打ち上げられるのは体の硬いモンガラ系やイシガキフグが多かったです。

4月7日の黒潮流路と周辺水温



打ち上げられていたシテンヤッコ

漂着していた魚類

ヘラヤガラ	1	メガネハギ	3
イトウダイ属	2	ナメモンガラ属	14
アジアコショウダイ	1	ウスバハギ	1
ハタタテダイ	1	ソウシハギ	1
シテンヤッコ	1	ハクセイハギ	6
イスズミ	1	ウミスズメ	2
ヒブダイ	1	ハリセンボン	1
クロモンガラ	2	イシガキフグ	16
ツマジロモンガラ	3	不明	1

神湊港定置水温データ及び八丈海洋ニュース、海の天気図（関東・東海海況速報）は、「島しょ農林水産総合センター八丈事業所」より提供していただきました。黒潮長期予報は、海洋研究開発機構（JAMSTEC）：黒潮親潮ウォッチ <http://www.jamstec.go.jp/aplinfo/kowatch/> より。

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

この花がこの実に（食べられる編）

八丈島にも美味しい実がなる植物がいくつかあります。でも、実がなる木や花を知らないと何処に探しに行けばいいのかわかりません。そこで探すポイントになる美味しい実の成る花を紹介します。花を探して実をゲット！



ハチジョウクサイチゴ

花の中に雄しべと雌しべのある両性花なので花が咲いていれば実がなるはずです。ハチジョウクサイチゴは粒が小さな赤い実で、少し酸味があります。カジイチゴやハチジョウイチゴはオレンジ色で甘みがあります。4月下旬頃から熟し始めます。



ヤマモモ

雌花が咲く木と雄花が咲く木が違う雌雄異株。雄花は下写真①。球形状の実（核果）は5月下旬から暗赤色に熟します。年によって実の成り方に違いがあります。公園内にたくさんありますが、木によって甘さが違います。食べ比べてみる？



ハチジョウグワ

雌花が咲く木と雄花が咲く木が違う雌雄異株。雄花は下写真②。実（集合果）は15mm～25mmほどの長楕円形で、5月から6月にかけて黒紫色に熟します。雄花は細長く、遠くからでも目立ちますが、その木には実が付きませんので注意！



ムベ

つる性の植物で同じつるに雄花と雌花が咲きます。雄花は下写真③。花は3月上旬から咲き始め、実は10月下旬に赤くなって熟します。熟しても実は割れません。雌花は花卉のように見える萼が白く、雄花は内側が少し赤く色づきます。



ミツバアケビ

つる性の植物で同じつるに雄花と雌花が咲きます。雄花は下写真④。花は3月下旬頃から咲き、実は10月下旬に紫色になり、熟すと割れて甘い香りがします。植物公園内でもたくさんの花が咲きますが、実になることが少ないですね。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は4月9日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成29年第4回） 調査者：沖山美、大場、石田、木下、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			33	ツワブキ	実が残る	シダ植物		
1	アオスゲ	花	34	トキワハゼ	花	1	アラゲヒメワラビ	
2	アオノクマタケラン	実が残る	35	ヌカボ	花	2	イシカグマ	
3	アツバスマシ	花	36	ノジスミレの仲間	花	3	ウチワゴケ	
4	イワニガナ	蕾	37	ハキダメギク	花	4	オオイタチシダ	
5	ウスベニチチコグサ	蕾	38	ハナイバナ	花	5	オオタニワタリ	新葉
6	ウスベニニガナ	花と実	39	ハハコグサ	花	6	オニヤブソテツ	
7	ウラシマソウ	花	40	ハルジオン	花	7	カニクサ	
8	オオアレチノギク	花	41	ヒナギキョウ	蕾	8	スギナ	ツクシも残る
9	オオシマカンスゲ	実	42	ヒメオドリコソウ	花	9	タチクラマゴケ	胞子葉
10	オオバコ	花	43	ヒメコバンソウ	花	10	タチシノブ	
11	オニタビラコ	花と実	44	ヒメスミレ	花	11	タマシダ	
12	オランダミミナグサ	花	45	フウトウカズラ	蕾	12	ナチシケシダ	
13	カスマグサ	花	46	ヘビイチゴ	花	13	ナンカイイタチシダ	新たな株
14	カタバミ	花と実	47	マツバウンラン	咲き始め	14	ノキシノブ	
15	カラスノエンドウ	花	48	ミゾイチゴツナギ	花	15	ハチジョウウカナワラビ	
16	キュウリグサ	花	49	ヤエムグラ	花と実	16	ハチジョウシダ	
17	キランソウ	花				17	ハチジョウウベニシダ	
18	コナスビ	花	木本			18	ヒトツバ	新葉
19	コハコベ	花	1	アオキ	花	19	ホシダ	
20	コメツブツメクサ	花	2	オオシマザクラ	花	20	ホラシノブ	
21	シチトウスミレ	花	3	カジイチゴ	花	21	マツザカシダ	
22	シラスゲ	花	4	クワ sp.	花	22	マツバラソ	
23	シロツメクサ	花	5	シマモクセイ	実	23	マメツタ	
24	シロバナマンテマ	咲き始め	6	タイミンタチバナ	花	24	ヤマイタチシダ	
25	スズメノエンドウ	花	7	タブノキ	花	25	ワラビ	新葉
26	スズメノカタビラ	花	8	ハチジョウクサイチゴ	花	今回はシダ植物 25 種を含む 88 種の植物を観察しました。木々の新芽が目立ち、本格的な春を感じさせてくれました。		
27	スズメノヤリ	花と実	9	ヒサカキ	花			
28	セイヨウタンポポ	花	10	ミツバアケビ	花			
29	タチイヌノフグリ	花	11	モクレイシ	若い実			
30	タネツケバナ	花と実	12	モチノキ	花			
31	チチコグサ	花	13	ヤナギイチゴ	花			
32	ツメクサ	花	14	ヤマモモ	花			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、海岸沿いで見られる「マルバアキグミ」にスポットを当ててみたいと思います。



マルバアキグミ

Elaeagnus umbellata var. *rotundifolia*

グミ科の落葉低木。アキグミの変種で本州(関東地方以西)や四国、九州の海岸沿いに分布しています。

葉は広くて円形、裏面は銀色の鱗片で厚く覆われています。八丈島では4月頃に香りの強い花が咲き、11月頃に実が紅色に熟します。両性花なので花が咲いていれば実が付くはずですが、実の成りが良くないです。

2017 5 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 「草木染め体験教室」 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」	4 「早朝探鳥会」 「沢の小径で探鳥会」 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」	立夏 5 「海岸で遊ぼう」 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」	6 「スペシャルガイドウォーク」 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」
7 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」	8	9	10	11	12	13 ガイドウォーク
14 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	15	16	17	18	19	20 ガイドウォーク
小満 21 ガイドウォーク	22	23	24	25	26	27 ガイドウォーク 八丈学講座 「海藻を調べよう」
28 ガイドウォーク	29	30	31			

イベントプログラム

GW特別行事 「バードウォッチング入門」	植物公園の中でバードウォッチングの入門編です。シチトウメジロやアカコッコが見られるといいね。 5/3～7（10：00～ 約1時間半） 小学生以上（低学年は保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名 雨天中止
GW特別行事 「体験八丈太鼓」	両面から打つ、島の太鼓を体験してみませんか？日頃のストレスを発散しよう！ 5/3～7（13：30～ 随時） だれでも ビジターセンター入口にて 無料 雨天中止
GW特別行事 「草木染め体験」	絹のハンカチをコブナグサで染めます。輪ゴムの絞り染めでどんな模様が出来上がるかな？ 5/3（13：30～ 約1時間半） 小学生以上（低学年は保護者同伴） ビジターセンターにて 参加費：800円（材料費込み） 定員：10名
GW特別行事 「早朝探鳥会」	早朝のホタル水路で、春に渡ってきた鳥たちや伊豆諸島ならではの鳥などを観察します。 5/4（6：30～ 約1時間半） 小学生以上（小学生は保護者同伴） 雨天中止 鴨川ホタル水路 集合・解散 参加費：50円 定員：15名
GW特別行事 「沢の小径・探鳥会」	三原川流れる沢の小径での探鳥会。伊豆諸島亜種のミソサザイやヤマガラ、コマドリを探しましょう。 5/4（13：30～ 約2時間） 小学生以上（小学生は保護者同伴・未就学児同伴不可） 中之郷：えこ・あぐりまーと 集合・解散 参加費：50円 定員：10名 小雨決行
GW特別行事 「海岸で遊ぼう」	海岸を歩きながら、いろいろな生きものを観察！ビーチコーミングもやりましょう！ 5/5（13：30～ 約2時間） 小学生と保護者（未就学児同伴不可） 現地 集合・解散（当日決定、予定：ヤケンガ浜） 参加費：50円 定員：5組（最大12名） 雨天中止
GW特別行事 「スペシャルガイドウォーク」	普段開催しているガイドウォークを島ならではの生きものにスポットを当てた特別版です。 5/6（13：30～ 約1時間半） 小学生以上（低学年は保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 5/14（13：30～ 約1時間半） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名
八丈学講座 「海藻を調べよう」	毎月行っている八丈学講座。今月は、海岸にある海藻を調べます。島にはどんな海藻があるかな？ 5/27（13：30～ 約1時間半） 中学生以上 現地 集合・解散（当日決定、予定：大湯浦） 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10：00～ 八丈・海・生きものたち
11：00～ おじゃりやれ 八丈島
14：00～ おじゃりやれ 八丈島
15：00～ おじゃりやれ 八丈島
16：00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2017.5.1 第192号

開館時間 9：00～16：45 年中無休（入館無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

島が冷水塊に覆われてしまうともう1つイヤな事があります。南寄りの暖かな湿った風が流れ込むと霧が発生し、飛行機が欠航してしまうことが多くなってしまうのです。「帰りの飛行機が飛ばない」これほど悲しいことはありません。黒潮！カムバック！と祈ります！（高）